

調査報告 4

ベトナムにおけるマイクロファイナンスとベトナム社会政策銀行

中村学園大学 流通科学部

山田 啓一

1. はじめに

2016年8月、中村学園大学流通科学研究所の海外研究調査の一環として経済発展の目覚ましいベトナムを訪問した。ベトナム訪問は今回で2回目であった。今回はハノイを中心に、ハノイ周辺（農家）およびハイフォン（貿易港）を訪れたが、最終日に、筆者が研究対象としている貧困問題に関連して、甲斐論研究所長、中川隆研究員、佐賀大学辻一成准教授とともにベトナム社会政策銀行（Vietnam Bank of Social Policy、以下 VBSP）を訪問し、広報・国際協力部（Communication and International Cooperation Department）の取締役である Nhan Phan Cu 氏と面談を行った（同部のスタッフ3名も同席した）。本稿では、この面談の内容を中心に、ベトナムのマイクロファイナンスと社会政策銀行について報告を行う。

なお、左下写真は VBSP 本部の外観であり、右下写真は面談終了後に会議室で撮影されたものである（左より、中川隆研究員、筆者、Nhan Phan Cu 取締役、甲斐論研究所長、辻一成佐

賀大学准教授）。

2. ドイモイ政策とベトナムの農業、農業金融

ドイモイ（doi moi）とは、「以前と比較してより進歩した状態に現状を展開していく（寺本2011）」という意味であるが、ドイモイ政策は1976年7月にベトナム南北統一がなされ、ベトナム社会主義共和国が誕生して以来採ってきた社会主義路線の行き詰まりを打開するために、1986年12月の第6回ベトナム共産党大会で打ち出された路線である（中野2004、今井2014）。

すなわち、ドイモイとは「ベトナム共産党による一党支配体制の維持を前提としつつ、ベトナムが経験してきた戦争という特殊状況も主要因として形成された、国家丸抱えの傾向を持つ国家管理下の計画経済に依拠した経済運営から、国家の管理を伴う市場経済に依拠した経済運営への転換を事業の中核」としており、「現在に至るまで推し進められている」路線であるとされる（寺本2011、10頁）。この結果、ベトナム経済は、2000年に入り、年平均7.4%（2001年～



2010年)の経済発展を遂げ、「ドイモイの新段階(トラン・ヴァン・トゥ2010年)」と呼べる高度成長時代に入ったとされる(坂田2013、3頁)。

ドイモイ開始後、農業生産も大きく成長し、計画経済時代の懸案事項であった食糧不足の解消ばかりでなく、農業がベトナムの経済を支える大きなセクターに成長するまでに至った(坂田2013、8頁)。こうした発展は農業者の努力に加えて農村政策および農村金融によるところが大きく、金融面ではベトナム農業農村銀行(VBARD: Vietnam Bank for Agriculture and Rural Development、以下VBARD)や今回訪問したVBSPの果たした役割は大きいものと考えられ、ベトナムの経済発展に今後も重責を担っていくものと期待される。

3. マイクロファイナンスとベトナムのマイクロファイナンス

(1) マイクロファイナンスとは

マイクロファイナンスは、「貧困者および低所得者の家庭および小規模事業に対する、貯蓄、(小口の¹)貸付、支払、送金、および保険を含む幅広い範囲の金融サービス(ADB2000)」である。マイクロファイナンスは、通常の金融機関が提供する金融サービスにとどまらず、社会媒介(グループづくり、リーダーシップのトレーニング、共同学習など)、企業開発サービス(マーケティング、ビジネス・トレーニング、生産トレーニングなど)、社会サービス(教育、健康と栄養、読み書きなど)までもカバーする統合的なアプローチを採るものとされる(Ledgerwood 1999)。

マイクロファイナンスは、1976年にバングラデシュのジョブラ村でムハマド・ユヌス博士が42世帯に27ドルを貸したところから始まった。その後、マイクロファイナンスは同博士が設立したグラミン銀行により進められた。1997年に

は、マイクロクレジット・サミットが開かれ、2005年までに1億世帯にマイクロクレジット(マイクロファイナンス)を普及させるための世界的なキャンペーンが提案され、世界中に普及して現在に至っている(Yunus 1997)。

マイクロファイナンスが抱える問題点として、「逆選択」と「モラルハザード」が提起されている(菅 2009)。逆選択は「契約前に借り手が返済意思のないことを貸し手に隠して取引を行うなど『隠された情報』によって引き起こされる現象(菅 2009、49頁)」であり、モラルハザードは「契約後に借り手がいったん融資を受けてから個人破産をすればよいとして返済しないなど、『隠された行動』により引き起こされる現象(菅 2009、49頁)」をいう。マイクロファイナンスの成否の要因の一つは、これらの問題にどのように対処するかである。

(2) ベトナムのマイクロファイナンス

ベトナムのマイクロファイナンスは、VBSP、VBARDのほか、人民信用基金(PCF: People's Credit Fund)等少数の公式機関以外は、国際NGOの支援によるプロジェクトや女性連合(TYM²)等の大衆組織により設立された組織、多様な形態の比較的小規模な準公式機関により行われている状況である(関屋・伊藤2012)。図表-1に2010年末現在の機関別の融資状況を示す。

VBSPおよびVBARDは国営の商業銀行であるが、VBSPがマイクロファイナンスに特化した機関であるのに対して、VBARDは農業および農村開発に重点を置いた金融サービスを行っており、マイクロファイナンスに特化した機関ではない(関屋・伊藤2012)。またPCFは協同組合法により設立された信用協同組合である(関屋・伊藤2012)。準公式機関は、50機関程度存在するとされる(関屋・伊藤2012)。

1 筆者加筆

2 Tao Yeu Maiの略で“I love you”を意味する(秋葉2015、148頁)。

図表－1 ベトナムのマイクロファイナンス機関別融資状況（2010末現在）

機関名	融資顧客数	構成比	融資残高	構成比
VBSP	810万人	59.6%	4,588	46.5%
VBARD	330万人	23.5%	3,500	35.5%
PCF	170万人	12.5%	1,700	17.2%
マイクロファイナンス機関／NGOs	60万人	4.4%	75	0.8%

注) 融資残高の単位は百万ドル
(出所：関屋・伊藤2012)

4. ベトナム社会政策銀行の概要と沿革

(1) ベトナム社会政策銀行の概要

VBSP は、ハノイに本部を置く国営の商業銀行の一つで、貧困者および政策上配慮が必要な家庭、少数民族等を対象とするマイクロファイナンスを主体とする金融機関である。VBSP の2016年7月末現在の総資本は144兆9千億ベトナムドン（VND）、総貸付残高は148兆2千億 VND、焦げ付き融資は1兆2千億 VND（総貸付残高の0.8%）である。

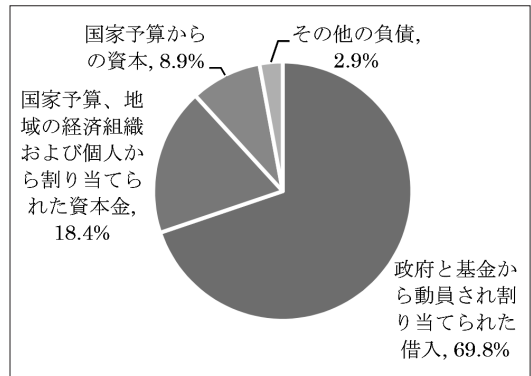
VBSP のネットワークは、本部、取引センター、情報センター、トレーニングセンター各1に加え、地域の支所63カ所、地方および都市の事業所629カ所、スタッフ9,000人、11,162の社（commune）³ および区における定期的な取引所10,922カ所、社および区における預金およびクレジット・グループ192,000組、現存負債者数6.9百万人となっている。

VBSP は、後述するように多様な政策金融を行っているが、その資金の供給源については図表－2に示すとおりである。

(2) ベトナム社会政策銀行の沿革

VBSP の前身は、VBARD 傘下に1995年に設立されたベトナム貧困者銀行（VBP: Vietnam Bank for The Poor）である。VBP は、もともと1995年にベトナム中央銀行、VBARD、Vietcombank の農村政策金融共通プロジェクト

図表－2 資本と負債の内訳（2014年12月31日現在）



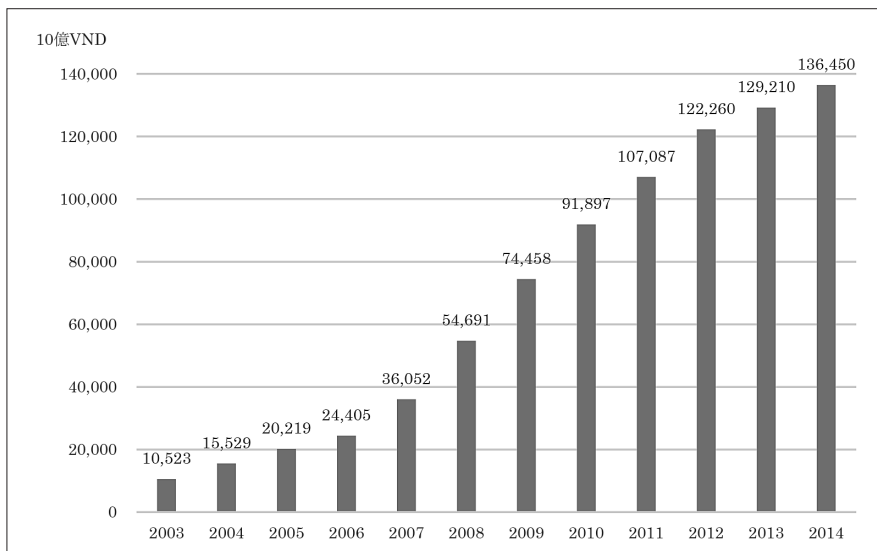
(出所：VBSP 2015)

トとして立ち上げられた貧民基金（The Fund for the Poor）がベースとなっている（秋葉2015）。VBP は、VBARD の店舗とスタッフを利用する形で1996年から業務を開始した（泉田 1999、137頁）。VBARD と同様の国営商業銀行であり、預貯金を受け入れ、公的に設定された貧困の基準を満たす家庭に融資を行った（泉田 1999、137頁）。

VBSP は、貧困者およびその他の受益者のためのクレジットに関する2002年10月4日付首相の決定 No.131/2002QD-TTg および2002年10月4日付政府の法令 No.78/ND-CP に基づき、VBP を VBARD から分離・改組して VBSP が設立された（VBSP 2015）。設立以降、順調に発展してきている（図表－3 参照）。

3 VBSP の英文のヒアリング資料および VBSP (2015) の英文による記述においては、“commune (s)” という表現が使われているが、これは「共同体」「地方自治体」「人民公社」などと訳すことができる。ここでは、秋葉(2015)の訳に準じて「社」という言葉を使うことにする。

図表－3 VBSP の総資産の推移



注) VND はベトナムドン
(出所: VBSP2015)

5. ベトナム社会政策銀行の特徴

(1) 組織構造とネットワーク

VBSP の組織は、取締役会（14名、うち常勤2名、非常勤12名）の下に、ハノイには本部（Headquarter）、取引センター（Transaction Center）、情報技術センター（IT Center）および訓練センター（Training Center）各1が置かれている。これらの下部組織として地方（Provincial）と都市（Municipal）の支所（Branch）があり、さらに地域の取引事務所がある。社および区（Communes/Wards）に、指定日取引所（Fixed Date Transaction Points）が10,922あり、192,000の貯蓄・借入グループ（Savings & Credits Groups）がある。

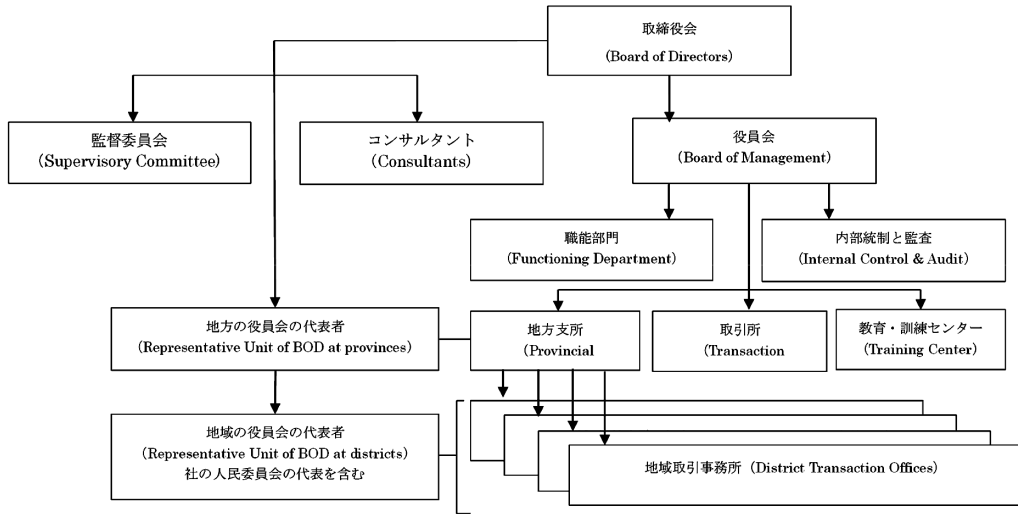
貯蓄・借入グループは、30～60人の会員（山岳地帯では10～15人）をグループ化したものであり、各グループにグループ長およびグループ長代理を含む理事会（management board）を置き、グループを認可し、グループによる帳簿管理を業務委託することにより、貸付と貯蓄の管理を容易にしている。このグループ内で、「逆選択」および「モラルハザード」の問題

を監視させ、返済の滞っている者については氏名を壁に張り出す等の方法により公表し返済を促進させるとのことである。

(2) 社における指定日取引とモバイル取引

VBSP では、地域事務所（District Office）でカバーできない地域については、各地の社に、指定する日に取引を行う指定日取引法によって対応している。すなわち地域事務所から3 km以内にある社においては、顧客が歩いて直接地域事務所へ行き、そこで取引を行う。これに対して3 kmを超えた場所にある社については顧客利便を考慮して、社に取引を行う日を指定してその日に社においてVBSPの事務所の人間が赴き、取引を行う。現在では、地域事務所から3 kmを超えた場所にある社においては、本部のサーバーとネットワークで連結したノートパソコンを使って取引を行うモバイル取引システム（Mobile Transaction System）を利用して取引が行われている。このシステムを使用して取引を行う場所を、モバイル取引所（Mobile Transaction Point）と呼んでおり、そこに後

図表－4 VBSP の組織構造



(出所：ヒアリング資料を筆者が編集)

述するモバイル取引チーム (Mobile Transaction Team) が指定日に赴いて取引を行うことになる。2014年12月31日現在で、全国11,138の社のうち11,000のモバイル取引所が設立されている。これによって銀行取引のほぼ90%がカバーされている。

モバイル取引チーム (Mobile Transaction Team) は、リーダー、会計担当者、出納担当者により構成され、モバイル取引所を巡回する。その主な役割は、①支払い、②貸付金返済の回収、③貸付金の改訂と監督、④リスク管理、⑤申込書の受け取り、⑥使用料と手数料の支払い、⑦大衆組織における会議 (meeting with mass organization) となっている。

モバイル取引の目的は、①貧困者やその他の受益者が政府の優先的貸付 (preferential credit) への接近性を高めること、②借り手の取引コストを低減すること、③優先的貸付の利用を宣伝すること、④貸付の利用状況を監視するための地域の当局のかじ取りと協力を強化し、貸付の効果を最大化するために貸付を正しい目的に利用する手助けをすること、である (VB

SP2015)。

なお、指定日取引所のメリットとしては、①借り手とVBSPの双方があらかじめ日程を計画することができる、②移動を含む借り手の取引の時間とコストを節減できる、③社会的な監督と手続きの普及、④VBSPの取引時間の節減が、あげられているが (ヒアリング説明資料)、通常の金融機関が利用している支店とATMのネットワークを構築するよりはるかに少ない投資コストでシステムの構築が可能となっていることもメリットとして考えられるのではないだろうか。

6. ベトナム社会政策銀行の業務内容

VBSPの主たる業務は、貸付、貯蓄および送金である。

(1) 貸付 (Lending)

貸付業務において重要な事項は、貸付モデル、貸付プログラム、顧客を選択すること、および選択の監視、である。

① 貸付モデル

VBSPは、女性組合 (Woman Union)、青

少年組合 (Youth Union)、中高年齢者組合 (Veteran Union)、農業者組合 (Farmers' Union) と共に、山岳地域 (Mountainous Areas)、農村地域 (Rural Areas)、遠隔地 (Remote Areas)、恵まれない地域 (Difficulty Areas) の貧困もしくはそれに準ずる政策的に配慮が必要な家庭に融資を行う。

② 貸付プログラム

VBSP の貸付プログラムの対象は、貧困者およびそれに準ずる者、恵まれない学生、中小事業者およびその家庭、出稼ぎ労働者、恵まれない地域に住む家庭、少数民族の家庭、洪水の地域に住み堅牢な住宅を必要とする家庭など、多岐にわたり、したがってそのプログラムも多岐にわたる。2014年12月末現在の貸付プログラムおよびその内訳については図表-5を参照されたい。

③ 顧客の選択

VBSP の政策貸付の対象者は、労働能力、健康、小規模企業家 (micro-entrepreneurship)、という基準によって貯蓄・借入グループにより選択される。そして、社の人民委員会において適格性の確認が行われ、さらに VBSP によって認定が行われる。これにより「逆選択」の問題に対応する。

④ 選択の監視

借入者は社屋 (Commune House) に張り紙等により公表される。公表される情報は、借入者の氏名、自宅住所、借入残高、預金残高等である。借入者は、大衆組織および現地の人間によって監視される。これによって「モラルハザード」の問題に対応する。

⑤ 大衆組織、貯蓄・借入グループの役割

大衆組織および貯蓄・借入グループの役割は、VBSP の貸付プログラムの紹介、対象となる顧客の選択、借り手の選択、利息および預金の集金、貸付の監督、諸活動の監督等を行う。

⑥ VBSP の役割

VBSP は、貸付の契約の締結と貸付金の支

払い、顧客口座の管理、貸付の監督、そして地方自治体との調整、を行う。

⑦ 貸付手続き

貸付の手続きは、貯蓄・借入グループで、借り手の選択 (借り手として適格であるかどうかの確認と選択) を行い、つぎに社の人民委員会で承認するという手続きが採られる。

⑧ 貸付の目的

貸付の目的は、政策金融プログラムが多岐にわたるので (図表-5 参照)、その目的も多岐にわたることになる。しかし、基本的な目的は、貧困者やそれに近い支援を必要としている人々を支援すること、および自然環境の保護や改善などが究極の目的であろう。

⑨ 貸付の規模

貸付の規模は、つぎのとおりである。

- ・無担保の顧客：最大5千万 VND (2,250米ドル)
 - ・有担保の顧客：最大10億 VND (45,000米ドル)
- ただし、社会住宅プログラムは住宅の価格によって貸付金額が決まるため、この条件からは除外される。
- ・恵まれない学生：月額最大125万 VND

⑩ 貸付の金利

貸付の金利は、各期間において首相によって規定されるが、各プログラムによって異なる。2016年8月現在の金利は、年率1.2% (少数民族のみ適用) ~ 9% (中小企業者による商業志向のプログラム、恵まれない地域における生産と事業を行う者) となっている。返済期限が過ぎている未返済の負債は貸付金利の130%である。

⑪ 貸付の期間

貸付の期間は、短期 (12カ月まで)、中期 (12カ月~60カ月)、長期 (60カ月以上) の3種となっているが、各プログラムの内容による。

(2) 貯蓄 (Savings)

貯蓄は定期預金 (Term Deposit and savings) とマイクロ貯蓄 (Micro-savings) がある。

図表－５ 政策貸付プログラムと2014年12月末貸付残内訳

プログラム名 (英文)	プログラム名 (和文)	貸付残高	(%)
Poor Households Program	貧困家庭プログラム	39,252	30.32
Near-poor Households Program	貧困に近い家庭プログラム	17,140	13.24
Disadvantaged Students Program	恵まれない学生プログラム	29,794	23.01
Job Creation Program	しごと創出プログラム	6,284	4.85
Program for Business and Production Households Living in Extremely Disadvantaged Areas and Communes	極度に恵まれない地域および社に居住する家庭の事業および生産のためのプログラム	13,961	10.78
Program for Housing Purpose with Deferred Payment	住宅目的の繰延支払プログラム	1,049	0.81
Safe Water and Rural Sanitation Program	安全な水と田舎の衛生プログラム	15,386	11.89
Program for Migrant Workers Abroad for Limited Terms	有期の海外出稼ぎ労働者のためのプログラム	460	0.36
Housing Support Program for the Poor	貧困者のための住宅支援プログラム	3,766	2.91
Program for Extremely Disadvantaged Ethnic Minority Households in Cuu Long River Delta	メコンデルタの少数民族の極度に恵まれない家庭のためのプログラム	447	0.34
Small and Medium Enterprises Program	中小企業プログラム	133	0.10
Forest Sector Development Program	森林区域開発プログラム	551	0.43
Extremely Disadvantaged Ethnic Minority Households Program	極度に恵まれない少数民族の家庭プログラム	549	0.42
Business and Production Units, Enterprises with Drug-detoxified Employees Program	薬物解毒された従業員のいる事業と生産の団体、企業のためのプログラム	61	0.05
Credit Program for Disadvantaged Ethnic Households in Cuu Long River Delta	メコンデルタにおける恵まれない少数民族の家庭のための貸付プログラム	—	—
Credit Program for Traders Doing Business in Disadvantaged Areas	恵まれない地域において事業を行っている交易者のための貸付プログラム	287	0.22
Program for Poor Households to Build Houses against Storm and Flood in the Middle Region	中部地区における台風および洪水に対応した家を建てる貧困家庭のためのプログラム	7	0.01
Program for Migrant Workers in Korea with Security Deposit	韓国における出稼ぎ労働者のための保証金を伴うプログラム	—	—
Other Credit Program Entrusted by International Organizations, Local Authorities	国際機関、地方自治体によって委託されたその他の貸付プログラム	75 255	0.06 0.20

注1 貸付残高は、単位10億ベトナムドン (VND)

注2 その他の貸付プログラムの上段は国際機関、下段は地方自治体のものである。

(出所：VBSP2015を筆者が編集)

① 定期預金⁴

定期預金は、1カ月、2カ月、3カ月、6カ月、9カ月、12カ月の期間で、10万 VND を最低金額として行うことができる。この定期預金のメリットは、利率がよいこと、手続きが簡単で迅速であること、期間が6つの中なら選べること、通帳を貸付の抵当として利用できること、があげられる。その他の特徴としては、通貨は米ドルで、金利は現行の金利が適用される。利息は満期時に支払われるが、必要に応じて満期前でも引き出すことができる。この定期預金は、満期時に受け取りが行われない場合には、自動延長となる。

② マイクロ貯蓄

VBSP の貯蓄・借入グループの全てのメンバーは、グループを通じて貯蓄サービスを利用することができる。メンバーは毎月グループの規則にしたがってグループリーダーを通じて貯蓄を行う。預金は、定額で1,000VND、5,000VND、10,000VND、15,000VND、20,000VND、50,000VND のいずれかで預金を行う。預金の引き出しは、グループリーダーを通じて行う。マイクロ貯蓄は、VBSP が責任をもって管理し、利子を支払う。VBSP はグループリーダーに各メンバーに対する集金と支払業務を委託する。

(3) 送金 (Money Transfer)

送金は、国内と海外の2種類を取扱っており、国内は自社のサービスを、海外はウエスタンユニオン社 (Western Union) の代理店として同社の送金サービスを利用している。

7. その他の活動

VBSP の2014年の年次報告書 (VBSP2015) によれば、同社のマイクロファイナンス事業における情報ネットワークシステムが、Microfinance Information Exchange, Inc.に

世界第3位にランクされると評価された。このような成果は、ベトナム国内および海外の関係者の協力がなければなしえない。このことから、VBSP では国際関係とプロジェクト管理にも力を入れている。

プロジェクトの開発は、ODA を含む海外からの経済的支援と技術支援をベースに海外の関係者の協力を仰いでいる。2014年12月末現在で、貧困対策、自然環境の保護、衛生、情報システムの開発等を含む10のプロジェクトが進行中である。

このほか、情報技術の近代化プロジェクトおよびアプリケーションの開発、スタッフの教育訓練、科学研究等の活動も行っている。

8. おわりに

最近の開発金融の市場機能重視傾向に対して VBSP の政策金融は「補助付き融資 (Subsidized Credits)」であり、NGO 等が否定的な評価をしていることが指摘されているが (泉田2013)、ベトナムのような社会主義市場経済にあつて、かつ少数民族を含む貧困層が大きな割合を占めている環境にあつては、貧困者に市場機能重視のやり方を求めることが果たしてよいのかどうかはわからない。受ける側に立つて、考察されることが必要であろう。筆者の研究でも、貧困者が自立していくためには、段階的な支援が必要であり、初期の段階や災害等の不測の事態が生じた場合などは、返済を求めない補助を行うことも必要であることがわかっている。

今回、訪問した VBSP は、そのオリジンが貧民銀行であったこと、ベトナムが社会主義市場経済を採用していることを考えると、その仕組みや活動内容等が必ずしも市場機能重視でなく、むしろ国策として貧困対策に取り組んでいる姿が見えてくる。また、人のネットワークに

4 http://vbsp.org.vn/evbsp/view_detail.php?mtt=414&mamm=54 2016年12月8日参照

よるシステムや、グループを単位とした貸付や預金の管理により、「逆選択」や「モラルハザード」に対応しようとしていることなども、独特の方法であると思われる。

以上の理由から、今回の VBSP 訪問は筆者の研究を進めていくうえでも、貴重な体験となった。今後の課題として、VBSP の現状が抱える課題とその解決、今後の発展戦略等について研究を行うことが指摘されることを述べて、とりあえず筆を置くことにしたい。

参考文献

- 秋葉まり子編著 (2015) 『ベトナム農村の組織と経済』弘前大学出版会
- 泉田洋一 (1999) 「ヴィエトナムの農村金融改革」石川滋・原洋之介編著 (1999) 『ヴィエトナムの市場経済化』東洋経済新報社、133～150頁
- 泉田洋一 (2013) 『日本の農村金融・マイクロファイナンス』農林統計協会
- 今井昭夫 (2014) 「ベトナム戦争とその後の社会主義体制—戦場から市場へ」今井昭夫・東京外国語大学東南アジア課程編著『東南アジアを知るための50章』明石書店、82～88頁
- 坂田昭三 (2013) 「高度成長下のベトナム農業・農村—ベトナム農業・農村発展の「新段階」—」、坂田昭三編著 (2013) 『高度経済成長下のベトナム農業・農村の発展』IDE-JETRO アジア経済研究所、3～28頁
- 菅正広 (2009) 『マイクロファイナンス—貧困と闘う「驚異の金融」』中央公論社
- 関屋宏彦・伊藤友見「マイクロファイナンス産業の新たなビジネスモデル展開についての調査」日経研月報、2012年8月、研究員リポート
- 寺本実 (2011) 「ドイモイの歩み」寺本実編著 (2011) 『現代ベトナムの国家と社会—人と国の関係性が生み出す〈ドイモイ〉のダイナミズム』明石書店、9～25頁
- 中野亜里 (2004) 「戦時体制からドイモイへ—ポスト冷戦期の社会主義志向路線」、今井昭夫・岩井美佐紀編著 (2004) 『現代ベトナムを知るための60章』明石書店、242～246頁
- Asian Development Bank. (2000). *Finance for the Poor: Microfinance Development Strategy*, Asian Development Bank
- Ledgerwood, Joanna (1999). *Microfinance Handbook: An Institutional and Financial Perspective*, the World Bank.
- Vietnam Bank for Social Policies. (2015). *Annual Report 2014*, a booklet distributed at VBSP.
- Vietnam Bank for Social Policies. (2012). *Development Strategy of Vietnam Bank of Social Policies in the Period of 2011-2020*, a booklet distributed at VBSP.
- Yunus, Muhammad with Alan Jolis. (1997). *Vers un Nonde Sans Pauvete*, Editions, Jean-Claude Lattes. (猪熊弘子訳『ムハマド・ユヌス自伝—貧困なき世界をめざす銀行家』早川書房、1998年)